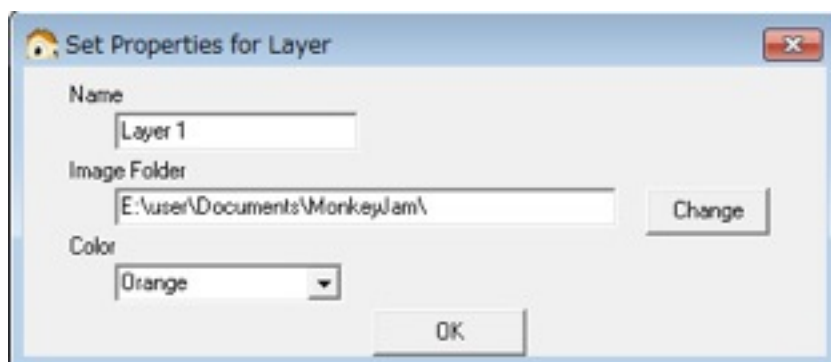


# Monkey Jamのつかいかた

## 【1】 Monkey Jamを起動してはじめにやること

①新しいエクスポージャーシート（タイムシート）を作成します。

★ Fileメニュー > New Xps



- Name** : 保存されるファイル名になります。例えば「Layer 1」だと、「Layer 1\_0001.png, Layer 1\_0002.png…」という連番画像が生成されます
- Image Folder** : 連番画像ファイルの保存先になります。
- Color** : レイヤーの色になります。3色から選べます。

②これから作業するエクスポージャーシートの管理ファイルをあらかじめ保存しておきます。

★ Fileメニュー > Save

わかりやすいファイル名をつけて、上記の連番画像の保存先と同じ場所などに保存します。

以上で下準備は完了です。

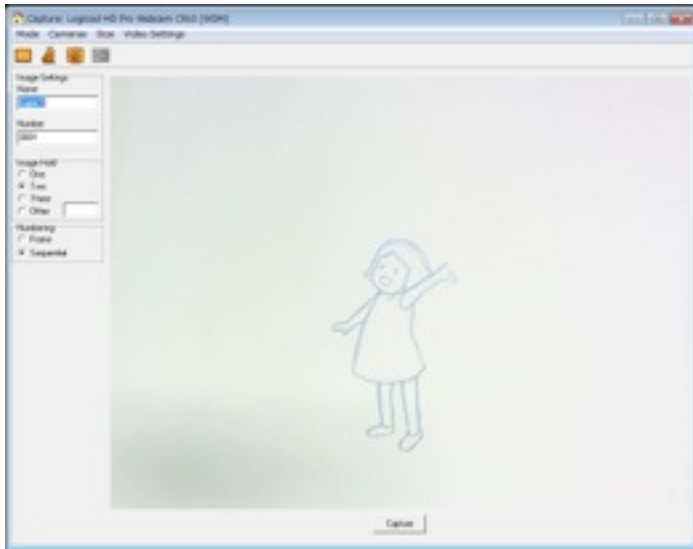
## 【2】 撮影を開始します。



カメラアイコンのボタンを押して、ビデオキャプチャウィンドウを開きます。

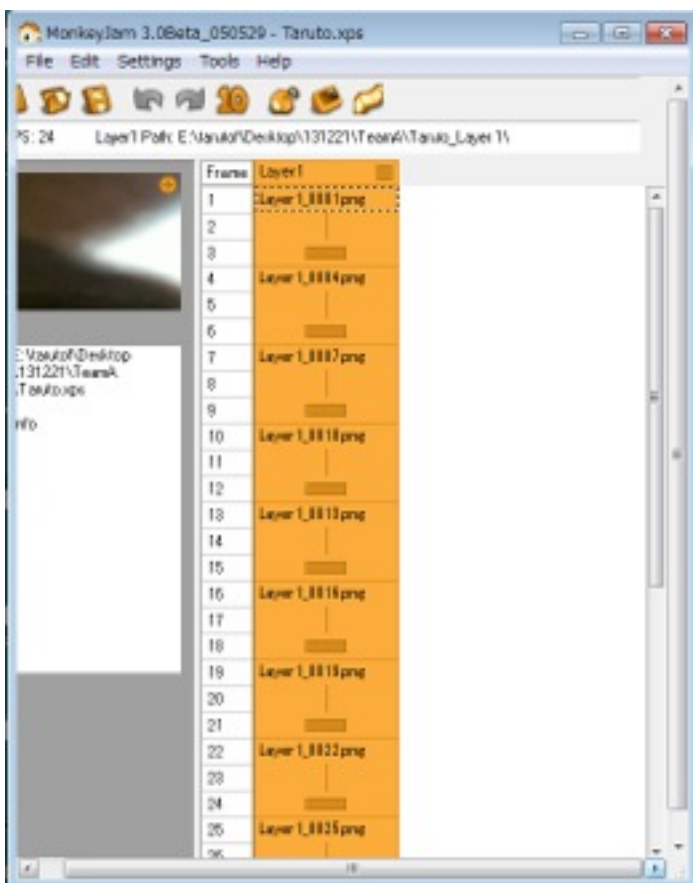
- ①**Cameras**> 「WEBカメラ名」 を選びます。
- ②**Size**> 「取り込み画面サイズ（800x600くらいがお勧め）」を選びます。
- ③**Image Hold**は、それぞれ**One**：1コマ撮り、**Two**：2コマ撮り、**Three**：3コマ撮りになります。
- ④**Numbering**は**Sequential**のままで大丈夫です。

- ⑤**Capture**を押すと撮影され、タイムシート（XPS：エクスポージャーシート）に反映されます。



### 【3】タイムシート（XPS：エクスポージャーシート）での編集

- ・撮影した画像はタイムシート上で編集可能です。トメの長さを変更したり、コピー&ペースト、削除などが可能です。
- ・Layerを増やすことで、2つのレイヤーを重ねて表示することも可能です。



## 【4】プレビュー



テレビアイコンのボタンを押して、プレビューウィンドウを開きます。

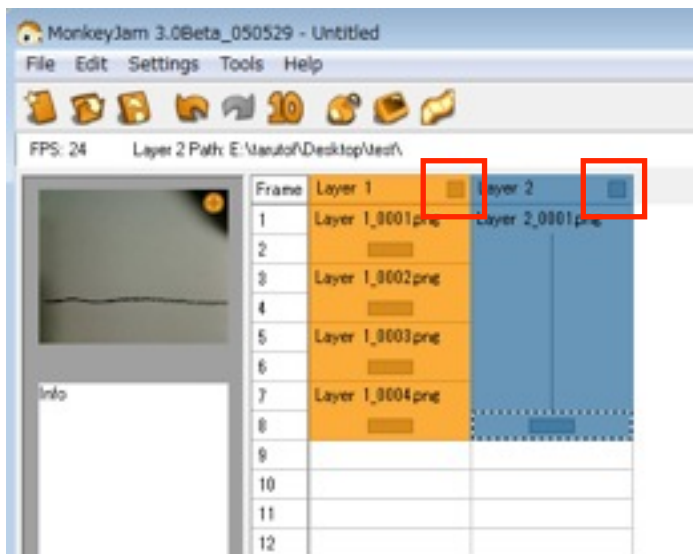
再生ボタンを押すと、プレビューがはじまります。

## 【5】レイヤーの追加

Edit > Add Layer

で、レイヤーを増やすことができます。

重なったレイヤーは、そのまま自動的に画像合成されます（白地に黒い線だと、白い部分が透明になります）。合成させたくない場合は、レイヤー上部のチェックボックスをオフにすれば、そのレイヤーは表示されなくなります。



## 【6】ムービーの書き出し



フィルムアイコンのボタンを押してエクスポート・ムービーのウィンドウを開きます。

書き出しフォーマットはAVIになります（Video Compressorのプルダウンメニューで、圧縮コーデックを選べます）。